



# 神奈川の風



平成27年4月27日号

校長 吉江 明洋

## < あなたの心の育ちとバランスは >

新年度が始まって三週間が過ぎました。2・3年生はもちろんですが、1年生も中学校での授業や生活によりやく慣れ始める頃。

しかし、ほっと一息して落ち着いてくると、学級の中でもそれぞれの自我が出始めて、人間関係の難しさを実感しはじめるのもこの時期です。

学級活動や部活動など、学校生活を通して得るものはとても大きいものがあるので、様々な経験を通して、自分の心を鍛えるための充実した活動となることを願っていますが、まずは全員で自分の心を見つめ直してみましよう。

当然ですが、一人ひとり生まれた環境も違えば育ち方や性格も違います。気の合う人、合わない人、人間関係がうまくとれる人、苦手な人。穏やかな人、感情の起伏の激しい人。細かいことにはこだわらない人、小さなことでも気になる人など、容姿が全員違うように、社会生活は様々な持ち味の人たちの集合体で成り立っています。

学校はもちろん、家族間も同様です。この先を考えてみても、人間は生まれてからず〜と、何らかの集団生活を続けていかなければなりません。人間一人では生きていくことができない限り、自分に合わない人を排除することはできません。様々な人々の中で、どんな人間関係作りができるかが、あなたの成長の大きなポイントになります。

自分の不快感には敏感でも、相手の気持ちに気付くのは苦手で、つい自分の気持ちばかりを主張したがる。もし、自分の要求だけを優先にしてもものを言ったり行動したら、仲間は嫌になって離れていきます。

人間関係作りの大きなポイントは、心の優しさは当然ですが、自分がしてもらいたいこと、相手にしてあげたことのバランスが取れているかが大切なのです。



よく、不満げに「～してくれないから」と、他人への文句を連発する人がいますが、「では、あなたは、みんなのために何をしましたか」と聞き返したくなります。仲間のために何もしていないのに、自分にして欲しい要求や、人のせいにしてばかり。また、自分の感情や感覚だけを判断基準にして気に入らない事を人にぶつけているだけだとしたら。

さて、あなたの心の育ちとバランスはどうでしょうか。相手の身になって考えたり、自分と違う考えを認めたりする許容範囲の広い豊かな心を、今、養わなければ一生後悔することになります。様々な人たちの集合体である学校や部活動で、誰もが心穏やかに安心して活動できるように、各自が自分の心の育ちとバランス感覚をもう一度見つめ直し、「全員を仲間と認める」「仲間と協力をする」「仲間を大切にすること」を、3年生がリードしながら全員で実践していきましょう。